

第 7 回アフリカ開発会議（TICAD）に向けて 国連開発計画（UNDP）セミナーを開催！

横浜市立大学は、6 月 28 日（木）に、ニューヨークの国連開発計画（以下、UNDP）本部で活躍されている小松原茂樹氏（TICAD プログラムアドバイザー）をお招きして、アフリカ開発会議（TICAD）に関するセミナーを開催します。小松原氏には「アフリカ開発とアフリカ開発会議」と題して講演いただき、2019 年に横浜で開催される第 7 回アフリカ開発会議（TICAD VII）を前に、アフリカ開発の現状や日本の役割などについて学生との議論により理解を深める機会とします。

当セミナーは、本学の吉田栄一准教授が担当している国際総合科学部専門教養科目「グローバル協力論」の講義との共同開催で、国際協力、国際開発を学んでいる学生が約 100 名参加します。

『国連開発計画（UNDP）セミナー』開催概要

日 時：平成 30 年 6 月 28 日（木）10：30 から 12:00 まで

場 所：横浜市立大学 金沢八景キャンパス YCU スクエア 1F ピオニーホール
（横浜市金沢区瀬戸 22-2）

テーマ：「アフリカ開発とアフリカ開発会議」

司 会：吉田 栄一 准教授（国際総合科学部 国際都市学系 グローバル協力コース）

ゲスト：小松原 茂樹氏



プロフィール

小松原 茂樹 氏（国連開発計画アフリカ局・TICAD プログラムアドバイザー）

こまつばら しげき。徳島県生まれ。東京外国語大学卒業後、ロンドンスクールオブエコノミクス大学院で経済修士号（国際関係論）を取得。（社）日本経済団体連合会事務局、OECD（経済協力開発機構）、民間産業諮問委員会（BIAC）事務局出向を経て 2002 年より国連開発計画に勤務。国連開発計画本部アフリカ局カントリーアドバイザー、ガーナ常駐副代表等を歴任。現在はニューヨーク勤務。2018 年 2 月よりニューヨーク日本人国連職員会会長。

当日は取材が可能です。取材をご希望の場合は下記へ事前にご連絡をください。